

■ 志望理由書作成

1・2年と自分の進路決定のために、職業リサーチや大学・学部・学科リサーチを実施してきました。その中で目標とする第一志望の大学・短大等が出てきたのではないのでしょうか。自分の進路目標を確固たるものにするべく、ここでは志望理由書を書いてみましょう。

1 志望理由書作成の概要

第1時限	内容 場所	志望理由書作成ガイダンスと下書きメモ作成 各HR教室
第2時限 第3時限	内容 場所	志望理由書下書きメモ作成 各HR教室
第4時限	内容 場所	情報収集 電子計算機室、視聴覚教室
第5時限 第6時限	内容 場所	志望理由書下書き作成 各HR教室
第7時限	内容 場所	志望理由書清書作成 各HR教室



2 目的

志望理由書を書くことにより、自分の興味関心に基づいた進路目標を明確にし、自己の在り方や生き方について探究する。また、作成の課程での情報処理能力、自己表現能力を培う。

3 事前準備

今までACTの時間・進路LHRの時間で考えてきた自分の進路選択について、思い返しておきましょう。また、自分の第一志望の大学・短大の案内は是非取り寄せておきましょう。案内の取り寄せは笠岡高校ホームページのリンク集から「全国学校案内資料管理事務センター（テレメール）」で申し込むのが便利だと思います。ただし、テレメールは必ず自分の住所で申し込むこと。

4 持参物

筆記用具とACTノート（この冊子）、第一志望の大学・短大の案内を持参しよう。

5 第1時限：志望理由書作成ガイダンスと下書きメモ作成

(1) 筆記用具とACTノート（この冊子）、第一志望の大学・短大の案内を必ず持参しよう。

(2) 志望理由書とは

志望理由書は「なぜその大学・短大に行きたいのか」をアピールするものです。推薦入試では、必ずといっていいほど提出を義務づけています。字数や形式は各大学・短大で違っていますが、記入を求められていることはほぼ同じです。面接を課す大学でも、志望理由を必ず聞かれますし、志望理由書を提出した上での面接では、その志望理由書に基づいて詳しく質問されることもあります。推薦入試等で志望理由書を書かなければいけない人はもちろんですが、志望理由書を書くことで、将来の目標や進学目的を明確にすることができます。今までのACTの時間に、職業リサーチ、学問リサーチ、大学・学部・学科リサーチ等を行ってきましたが、その集大成といえるのがこの志望理由書作成です。

(3) 志望理由書の書き方

志望理由書は4部構成で書こう

第1部 意志提示をする

ここでは将来の職業か大学・短大で学びたい内容をあげよう。

具体的には「～になりたいので〇〇大学〇〇学部〇〇学科に進学したい」

「～について研究をしたいので〇〇大学〇〇学部〇〇学科に進学したい」

このいずれかで書いてみよう。将来の希望と志望学部がストレートに結びつかない場合は、架け橋となる補足説明も入れよう。例えば、その学部で学ぶことが自分の将来の職業にとってプラスになる理由を書けばよいでしょう。

第2部 動機について書く

「～になりたい」「～が学びたい」と思ったきっかけを書こう。あなたはその職業をめざす原因、またはその学問を学びたいと考えるようになった原因は何か、自分の歴史を振り返ってみることが大切です。いきなり、「これがきっかけで自分の進路目標が明確になった」という人はあまりいないはず。漠然とした志望を持ったきっかけ、その想いを強くした出来事、どんどん思い出していこう。人との出会い・本との出会い・感銘を受けた体験など色々あるでしょうが、その思い出した事柄をしっかりとメモしよう。そのメモを元に記憶をもう少し詳しく描写してみよう。その描写（文章化すること）から、考えられることや感想をまとめてみると初めは漠然としたきっかけが明確になってきます。

第3部 職業観・学問観を述べる

将来つきたい職業の社会での役割や具体的にどんなことを学びたいのか、やりたいのかを書こう。「将来就きたい職業は社会にとってどのような意味があるのか」「その学問を学び、研究することが社会的にどんな意義があるのか」「大学でどういったことを研究したいのか」などをしっかりとまとめて書こう。

将来の職業・学びたい内容が社会にとってどんな意味があるのかを考える前に、まず実際に社会にはどんな問題が存在しているのか、それを把握し、その問題に対する自分なりの解決策を考える必要があります。それを考えることがその職業を目標にする社会的意義、その学問を学ぶ社会的意義になります。多いと思いますが、職業観・学問観がはっきりしていない人は、ぜひ志望大学の「大学案内」・大学のウェブサイトを利用してみよう。「大学案内」やウェブサイトには学部・学科の概要、教授や学生のコメン

トなどが載っています。その中に現在の社会の問題点やこれからの社会のあり方などについて書かれた箇所が見つかるはずです。

第4部 まとめ

全体をまとめて、志望大学・短大等の特徴・魅力に触れて、再び意志提示をしよう。

ここでは、志望大学こそ自分が学ぶにふさわしい特徴を持っていることをあげることが大切になります。「大学案内」・ウェブサイトには、施設、授業内容、留学制度、就職状況、課外活動、心を引きつけた言葉など、多くの特徴・魅力が書かれています。それをしっかりメモして、あなたがその大学・短大等を志望する理由について明確に述べよう。また、オープンキャンパスに参加して手に入れた情報・魅力は、大きな大学・短大への志望理由となっているのではないのでしょうか。参加した人はそのことも書き込もう。

(4) 志望理由書作成の前に

下書きメモをとろう

4部構成でいきなり書き始めるのはやはり無理です。ここでしっかり下書きメモをとることが大切です。このメモの出来で志望理由書の出来は決まってきます。

次ページからの「下書きメモ」用紙にどんどん書き込んでみよう。



(5) 情報収集ソースの例

■ 本・雑誌などの書籍

- ・各大学の「大学案内」（進路指導室にあります、各自で取り寄せよう）
- ・『蛸雪時代臨時増刊 8月号 大学案内紹介号』（HR教室にあります）
- ・各大学の赤本（進路指導室にあります）

■ インターネットウェブサイト

- ・Benesse マナビジョン（ベネッセ）：<http://manabi.benesse.ne.jp/op/>
- ・進学の広場：<http://www3.asahi.com/opendoors/gaku/>
- ・大学入試センター ハートシステム：<http://www.heart.dnc.ac.jp/>

■ 進路指導室

進路指導室に行けば本や雑誌、大学案内など様々な資料がそろっています。

主なウェブサイトは笠岡高校ホームページの「笠岡高校おすすめLINK集」「総合的な学習の時間ACTで役立つリンク集」にリンクしてあります。

6 第2時限～第3時限：志望理由書 下書きメモ作成

- (1) 筆記用具とACTノート（この冊子）、第一志望の大学・短大の案内を必ず持参しよう。
- (2) 下書きメモ用紙に必要事項をどんどん書き込もう。この出来が志望理由書の出来を左右します。

志望理由書下書きメモ

志望大学： 大学 学部 学科

① 就きたい職業または学びたい学問は何か。・・・第1部

※「～になりたいので〇〇大学〇〇学部〇〇学科に進学したい」か、「～について研究をしたいので〇〇大学〇〇学部〇〇学科に進学したい」の文章で書こう。将来の希望職業と学部・学科が直接結びつかない場合は、「将来〇〇になりたい。そのためには〇〇を学んでおくことが必要であると思う。それが〇〇大学〇〇学部〇〇学科に進学したい理由である」といったふうに書くとよい。

② 「～になりたい」「～が学びたい」と思ったきっかけは何か。・・・第2部

i) 自分の歴史を振り返ってみよう。人との出会い・本との出会い・感銘を受けた体験など出来事を具体的に書こう。

ii) i) で思い出した事柄について、何をどう感じたのか、少し詳しく描写してみよう。

iii) ii) の描写から考えられる解釈や感想をまとめよう。この解釈や感想が自分の進路選択に影響を与えているはずだ。

③自分の目指す職業または学びたい学問の社会的意義は何か。・・・第3部

- i) 社会的意義の前提として、実際社会にはどのような問題が存在しているか、挙げてみよう。2年次のテーマ研究でのテーマ設定理由を思い返したり、「大学案内」・大学のウェブサイトの手がかりを見つけてみよう。

.....

.....

.....

.....

.....

- ii) i) で挙げた問題点に対して、今までに調べたり経験したことがあるか。

.....

.....

.....

.....

.....

- iii) i) で挙げた問題点に対する自分なりの解決策は何か。そのために学びたいことにつながります。

.....

.....

.....

.....

.....

④志望大学の特徴は何か。その大学ならではの魅力的な特徴を書こう。・・・第4部
(例：施設・設備、授業内容、大学の仕組み、留学制度、オープンキャンパスで得た有意義な情報など)

.....

.....

.....

.....

.....

7 第4時限：志望理由書 下書きメモ用情報収集



- (1) 筆記用具とACTノート（この冊子）、第一志望の大学・短大の案内を必ず持参しよう。
- (2) 大学・短大等のホームページ、自分の希望する職業に関するウェブページ、学びたい学問に関するウェブページを参考にして、志望理由書下書きメモに肉付けをしていこう。

8 第5・6時限：志望理由書 下書き作成

- (1) 筆記用具とACTノート（この冊子）、第一志望の大学・短大の案内を必ず持参しよう。
- (2) 下書きメモをもとに、一枚の志望理由書を作成しよう。四部構成で書いてみよう。下書き用紙は1180字としていますが、マス目にとらわれず記入して構いません。
- (3) 下書きのポイント

- i) 四部構成で書くが、メモの段階で多くのメモを挙げている場合は、他の部の内容と一貫性がもてるものを取捨選択すること。
- ii) 全体のバランスを考えて、引用文や会話描写など長いものは短くするなど、加工すること。
- iii) まとまりのある文章にするために、各部で用意した下書きメモに言葉を補い、つないでいくこと。

- (4) 下書きは1回ではなく、修正を加えて2回は書こう。最初から満足のいく志望理由書は書けません。
- (5) できあがった下書きは他人に目を通してもらおう。自分ではよくできたと考えていても、わかりにくい表現や矛盾した部分があるものです。

8 第7時限：志望理由書 清書作成

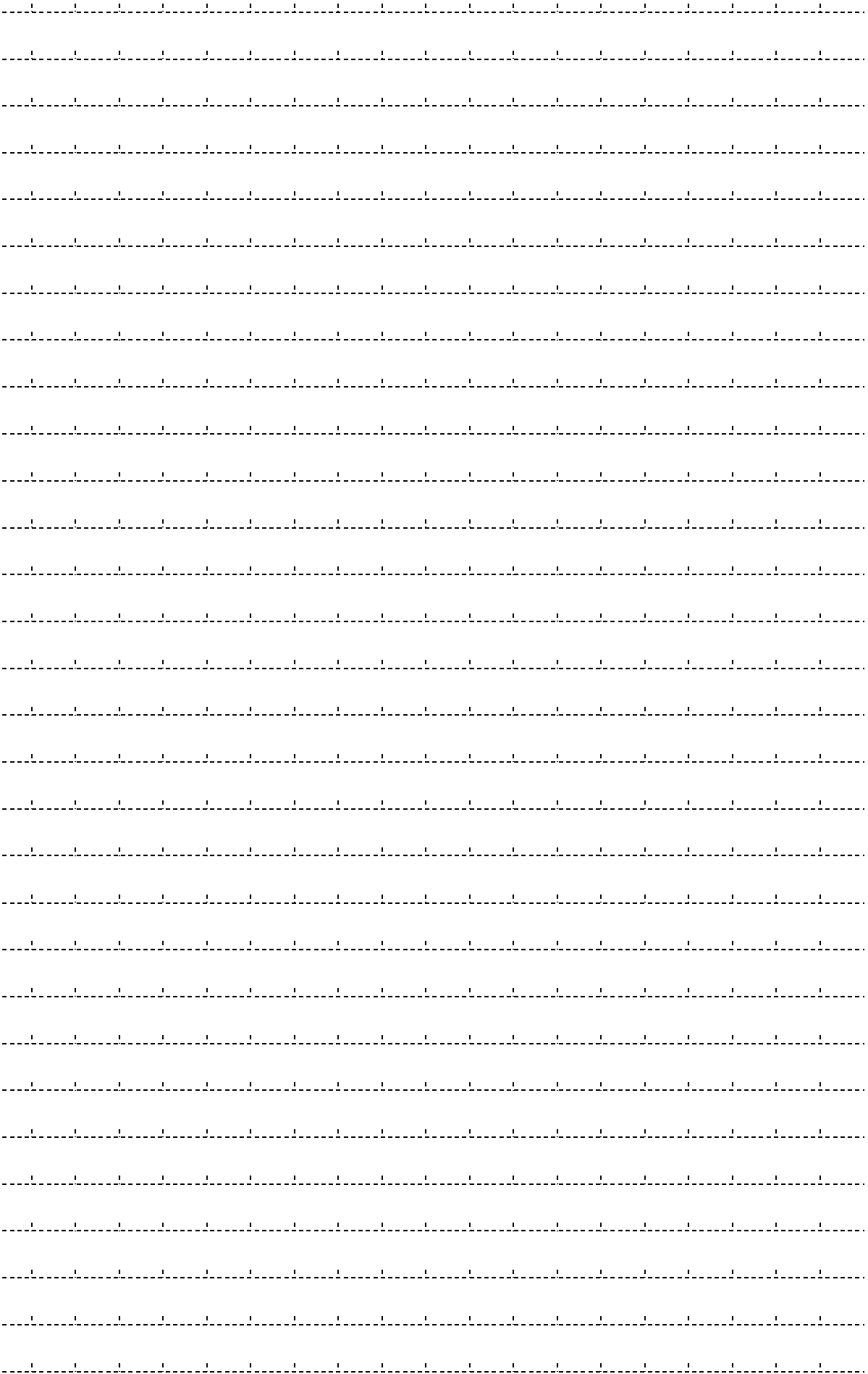
- (1) 筆記用具とACTノート（この冊子）、第一志望の大学・短大の案内を必ず持参しよう。
- (2) 下書きをもとに、志望理由書の清書をしよう。この志望理由書は自分の進路目標を明確にするためのものですから、丁寧に仕上げよう。
- (3) 志望理由書の清書は、実際に推薦入試で担任が推薦書を記入する際の大切な資料になりますし、面接がある場合にも大切な材料ですから、必ず担任に提出して下さい。

9 事後の学習

今回の志望理由書作成は、今までの総仕上げとして自分の進路目標を明確にするためのものです。推薦入試などで実際に志望理由書の提出を求められる人は、自分の志望大学の志望理由書がどのような形式で、どのような字数なのかを調べておく必要があります。中には自分の適性とか、部活動などの課外活動についての記述を求められるものもありますが、基本的な書き方は今回の志望理由書作成が参考になるはずです。また、志望理由書提出とともに面接を実施される場合には、志望理由書に基づいて細かな質問がされることが多いので、第2部で書いた社会の問題点や、第3部での社会的意義の部分はしっかり調べて、また参考文献を読んでおく必要があります。夏休みを利用して自分の志望に関わる本は最低でも2冊は読んでおきましょう。また、志望大学のオープンキャンパスに参加していない生徒はぜひこの夏休みを利用して参加しておきましょう。出願前にあわてて志望理由書を書き、面接の準備をしても間に合いませんよ。

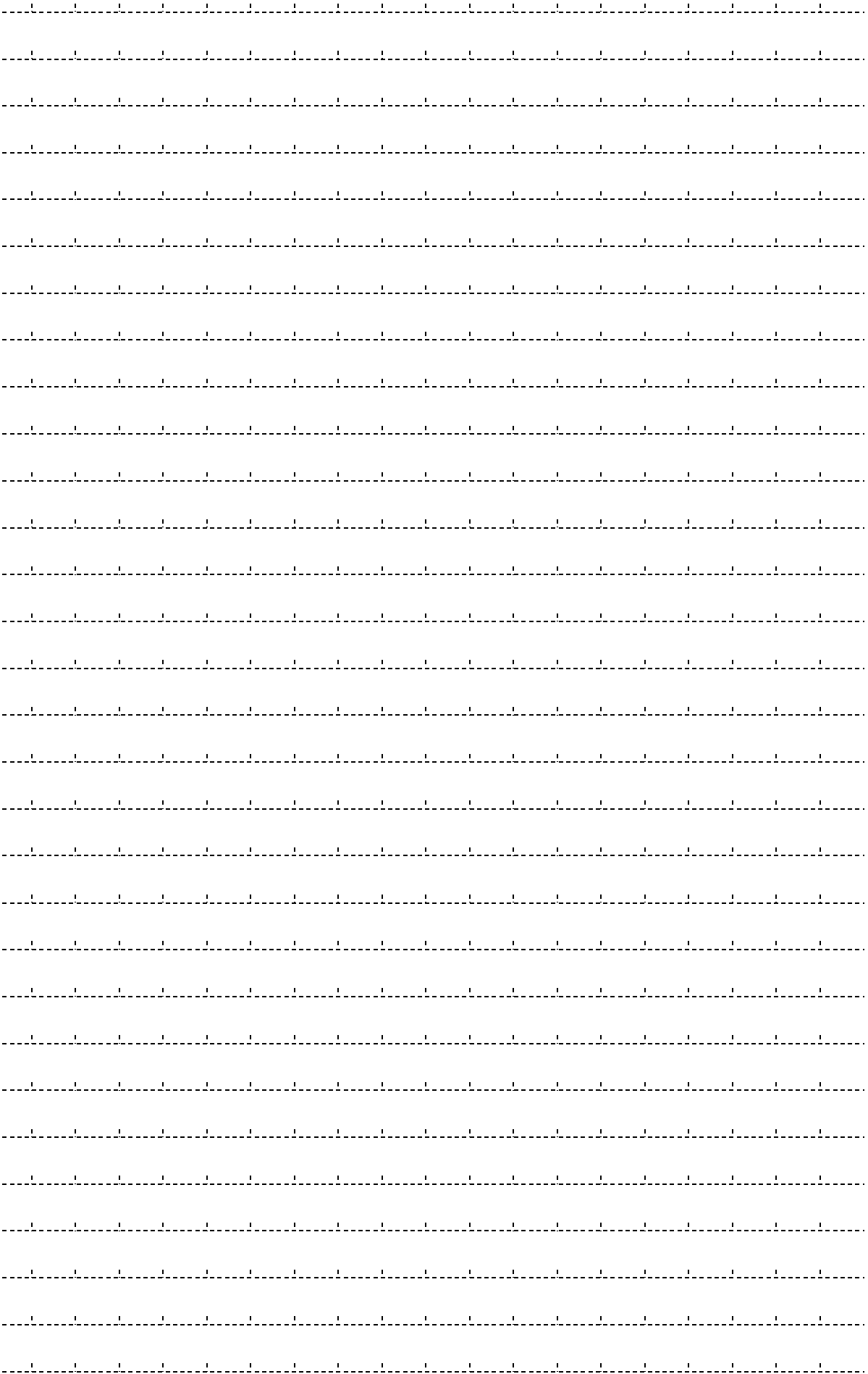
志望理由書下書き①

A series of horizontal dashed lines for writing.



志望理由書下書き②

A series of 25 horizontal dashed lines for writing.



志望理由書清書

_____組_____番 氏名_____

Handwriting practice lines consisting of 25 horizontal dashed lines.

